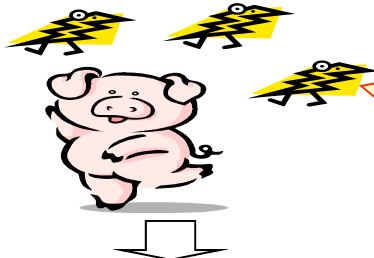


豚肉質を改善する飼料の開発

＜豚肉質の劣化機構の解明＞

と殺前に
ストレスが加わると・・・



ここが
重要！

体温の上昇↑
枝肉の温度の上昇↑

肉の乳酸の大量産生↑
pHの急激な低下

ストレスに対する
特異的な内分泌系の応答

筋肉タンパク質分解
酵素活性の上昇↑
筋繊維の分解（断片化）↑

肉質劣化
ドリップ↑
白っぽい肉色



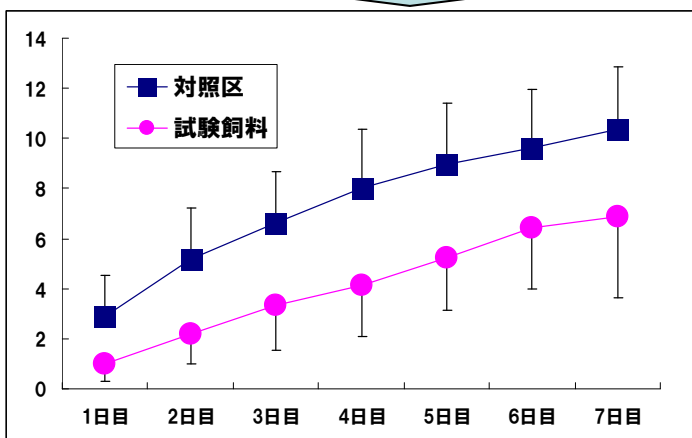
肉質劣化を抑制する飼料を開発中

三者共同研究を実施、日本農産工業（株）中部支店、研究開発センター・鹿児島大学・岐阜県畜産研究所

抑制効果

体温の上昇↑
枝肉の温度の上昇↑

ストレスに対する
特異的な内分泌系の応答



と殺後日数（日）

市販の肥育後期飼料を給与

肉質を改善する飼料を給与
（試作品）

市販飼料；DG0.9kg FCR 3.8

試験飼料；DG1.0kg FCR 3.6

DG（1日平均増体重）は、肥育後期中
のデータ

FCRは、飼料要求率を表している。

図. 飼料の違いがドリップロスに及ぼす影響